

## 家庭における情報環境について (3)

回線スピードが上がり、インターネットの利用が変わるといいましたが、確かにプロバイダから個人への回線スピードが上がってもその外側の回線スピードが上がらなければという指摘があります。そこでちょっと調べてみました。すると、以前は国内回線50Mbps、国際回線45Mbpsで太く利用でもストレスなく使えるという宣伝がされていたものが、D T I で国内回線1.1Gbps、国際回線165Mbps×2を確保し、プロバイダとユーザ間の回線速度アップに対応しているようです。しかしこれも複数の人が同時にアクセスした場合にどうなるかは問題が出そうですが、実際にはそこまで使用されていないようです。また、プロバイダ側もポイントごとにコンテンツサーバやキャッシュサーバを設置することによって、ボトルネックの解消を図っています。

さて、それでは回線スピードが上がった場合の家庭の情報環境についてですが、実際に整備されて見ないとということはあるかもしれませんが、これまでにインターネットで流通していなかったものが流され、インターネットの利用方法も一新することが考えられます。例えば、音声データについていえば、これは現在でも一部行われていますが、インターネットによるラジオ放送がもっと本格化し、これまでライブ放送が十分出来なかった(途中で音声が切れたりする)ものが、普通の放送と同程度の放送が可能になります。音楽について言えば、「N a p s t e r」による音楽ファイル交換によってCDの売り上げが落ち、大手レコード会社のインターネットサービスが始まったということもあり、これまでデータ交換できにくかった大容量の映像ファイルが、回線が高速となることによって個人でも可能となればコンテンツ作成側がどう対応するかはわかりません。また、さらにインターネットによるテレビ放送までが可能となり、データ配信としていろいろなものが個人で発信される可能性も出てきます。これまでの放送や音楽など、放送局やレコード会社力でなければできなかったものが、個人レベルでも可能になると個人でのインターネット放送などが活発となり、これまででは考えられなかった情報形態が成り立つようになります。また、テレビ放送がインターネット環境で可能になれば、BSデジタル、地上はデジタルでなされるはずの双方による放送が可能となり、必要なときに必要なデータが入手できる環境がインターネットの中で可能となります。これまではいくつかの情報環境(例えばテレビ放送と公衆電話網など)の組み合わせで考えられていたものが、インターネットの中ですべてが可能となる可能性があります(だいぶ無理なところがあるかもしれませんが)。高速回線が各家庭まで来るということは、世界の情報がライブで入手できるということで、されをどのように使うかによって差が出てくる可能性もあります。

各家庭への高速回線の接続は日本はまだ遅れているほうで、アメリカの前政権の情報ハイウェイ構想、韓国、インドネシアなどのADSL網の普及など各国で進んでいます。これまで構築されてきた情報網(例えば、テレビ、新聞など)が再構築され、郵便、新聞、テレビなどがよりリアルタイム性の要求に対してインターネットに置き換わる可能性があり、朝、新聞の代わりにインターネットで機能の出来事を、今日の天気を見ることができます(このごろの技術では読ませることもできますが)。少し前であればテレビのデジタル放送でということなのかもしれませんがインターネットで十分です。なんだかこう考えるとインターネットがすべてを飲み込むこともあるのかなあと考えてしまうこのごろです。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 6月18日号

特集 バスよりシリアルGHz伝送への決断

→パソコンのバススピードは、133MHzまでになったがそれ以上の性能が要求され、各種インターフェース間の接続がバスからシリアルへと10年ぶりの大変革がなされつつある。

解説 BSデジタルへの出荷急落 吹き飛ばす楽観論

→2001年に入ってBSデジタルの売れ行きが止まった。受信機の価格が高く、魅力的なコンテンツも少ない。このままでは地上はデジタルの普及まで悪影響を及ぼす可能性もある。

○日経パソコン 6月25日号

特集 Office XP完全ガイド

→「XP(eXPerience:体験)」をバージョン名としたOffice XPはどこが変わってアップグレードの価値があるのかを特集。

レポート おもちゃのデジカメを選ぶ

→ちょっとしたところへも持ち運べる1万円前後のおもちゃのデジカメ。30万画素程度やフラッシュ付まで、9種類を比較。

○日経バイト 7月号

特集 セキュリティと性能の最適設定

→Windowsは操作性が高く設定が簡単だが、十分なセキュリティをもちせようとするレジストリを操作する必要がある。レジストリはシステムやアプリケーションが利用するパラメータを一元管理できるが、十分な知識と注意が必要で設定を間違えるとシステムが起動しなくなる可能性もある。

特集 Linuxの常識を変えるKylix

→Linux上でのプログラム開発は、これまでのUNIX上と同様のものであったが、Windows上の開発環境と同様のものを提供するKylixの登場で、VBで開発した経験があればLinuxのプログラム開発が可能になる。

○日経ネットビジネス 6月25日号

特集 ポストバナーはここまで来た

→これまでのバナーによる広告は限界といわれ始めてきたが、目的を極め対象とする顧客層を絞りアイデアを凝らせばテレビコマーシャルや雑誌広告で話せない効果をもたらす。新しいインターネット広告とは。

○N+I MAGAZINE 7月号

特集 常時接続完全マスター

→ISDN、ADSL、CATVなど常時接続が一般化した。技術的、将来性から何を選べばよいのか。常時接続環境がもたらす新たなメリットとは。

特集 無線LAN徹底理解

→現在注目されている無線LAN。無線LANの特徴とは。技術的解説から導入法まで。

特集 「セキュリティ」最重要ポイント50

→セキュリティを実現するには。そのポリシー作成のチェックポイント、システム構築のチェックポイント、設定と運用のチェックポイントの合計50。

○ASCII 7月号

特集 この夏のヒット商品

→スペックだけでは選べない2001年夏のパソコン。新製品の傾向と製品選びのポイント。

特集 次は財布になる 携帯電話

→FOMAがスタート。メールやゲームの次は支払いまでできる時代がまもなく間で近づいている。

○PC STYLE 21 7月号

特集 速報夏モデル186種 完全購入ガイド

特集 最新デジカメ徹底攻略

○アスキー・PC 8月号

特集 ペーパーレス「スキャナ活用」再入門

→重要な書類から新聞や雑誌の切り抜き、プリントした写真まで保存するためのスキャナの使い方。原稿の種類と使用目的に応じてスキャナやアプリケーションをどう使うか。

特集 Windows 98&Me フォルダ&ファイル活用術

→大容量になったHDD。どのようにファイルを管理すれば整理できるか。フォルダの使い方から検索の仕方まで。

特集 周辺機器「接続トラブル」大解決!

→USB、PCカード、IEEE1394など手軽に機能拡張できる周辺機器の接続トラブルの解決方法。

○DOS/V magazine 7月15日号

特集 /Vmag流 自作PC進化論

→自作PCは安くつくという時代は終わり、それなりのものであれば出来上がったものの方が安い。自作で作るのであればそれなりの考えのもとで作る必要がある。自作すべきパソコンとは。

特集 PCエマージェンシー対応マニュアル

→緊急事態に対応するマニュアル。定番トラブルから隠れているネットワークトラブルへの対応。

特集 アナログ音源デジタル化計画

→これまで持っているレコード、テープをデジタル化して残すには。できるだけクリアな常態で残す方法と整理の方法まで。